

変革は大いにやるべきです、けれど・・・

加地市長、急がば回れ

市民生活の安心は、行政の継続性から

三国学童の増築は止めるのですか

三国学童は、児童増のため本来6年生までのところ、3年生までに制限してきました。それでも定員40名をはるかに超えたので、2教室増築する計画でした。これは、昨年議会で何度も調査し関係者と協議して決めていたことでした。ところが、建築予定地に記念樹があることがわかり再検討す

高学年はプログラム型低学年はプレハブ建設で

ることとなりました。その後、市は増築をやめて三国小の特別教室を活用すると言い出しました。増築をやめるのは、大きな政策変更であるので、議会や保護者会に丁寧に説明するべきではないかと問いました。

これに対し、市長は、「三国学童の高学年は、遊

12年ぶりに、加地新市長に代わって8ヶ月が過ぎました。加地市長は、短期間に市民との対話集会やサービスエックなど次々に新しい手法を取り入れ、市民の変革への期待が高まっています。反面、その動きが速すぎてこれまで続けてきた政策の継続性がどうなるかと不安視する市民も多く、また、その実行に直接かかわる市職員には十分考えが浸透しきれていない状況があります。しんばる議員は、加地市長の変革をより効果あるものにするためには、行政の継続性や政策変更について議会、市民、職員へもつといねいに説明し、市民みんなで取り組む姿勢が必要ではないかと質問しました。



発行
しんばる善信後援会
小郡市小郡1304-2
0942-73-2123



びや学び、体験を組み込んだプログラム型をモデル的に行い、その検証後、他の

学童にも導入を考えているが、小郡市の学童は、保護者で運営してきた経緯があり、導入については、保護者と十分協議した上で進めたい」と答えました。また、保健福祉部長は、「3年生まではプレハブ教室建設を考えている」と答えました。

保育士人材確保と待機児童解消

現在、小郡市の保育園待機児童は、特定の園を希望する潜在的待機児童も含めると百三名います。そのもうとも大きな要因は、保育士不足です。保育士確保を行うのか質問しました。

小学校自校式給食は計画通りにできますか

小郡市は、平成30年度に東野小の自校式給食を実施し平成32年度までに残る三年生、のぞみが丘小の自校式給食を実施するという計画を立てています。この計画が予定通り行われるのか質問しました。

これに対し、市長は、「来年度三国小給食室を建設し、のぞみが丘小の設計を行なう予定。また調理・洗浄の民間委託については小郡小で3年間試行し検証して決定する」と答えました。

障害児加配保育士の配置基準改善を

障害児が在園する保育園に配置される加配保育士の配置基準改善については、「障害児保育は、現在8園に障害児加配保育士を配置し、今後、専門家の協力を得ながら改善できるよう取り組む」と答えました。

市民参加というなら

議会・市民・職員が納得してこそ

政策変更に当たっての説明もつていねいに

市の政策を決定し、監視するのが議会、もつといねいな説明必要

地方自治で議会は市の政策を決定し、その実行を監視する役割があります。市長は、政策を議会に提案し、認められれば実行するという立場です。

したがって、新たな政策提案もしくは政策変更については議会に説明し、了解を得なければなりません。これは、憲法及び地方自治法に規定されていることであります。

「協働」から「共同」へそれって何？

加地市長は市長選のマニュフェストを実行するためにいくつかの政策変更を行つてきました。

「協働のまちづくり」での「協働」から「共同」への変更はその一つです。しかし、その意味するところが不明確なため議会でも、ま

だ十分理解が得られていません。「協働のまちづくり」については、「議場でも協働のまちづくりについての経緯をしつかり理解した上で新しいにていねいに説明し慎重に進めないと、どんないい提案でも、かえつて混乱を招きかねません。

として問題ないとの考え方をお示しました。

考え方の変更説明済み？

職員すみずみに市長の政策意図浸透していますか

市長の政策を具体的に実行していくのは、部課長及びそれぞれの部署の職員です。職員は、これまでの経験に基づき実施してきた経過の上に立つて日々の職務を行つています。

加地市長は、「政策を推進していくためには、職員は施策の本質を十分に理解し、一丸となつて取り組みを進めていくことが必要であり、職員との対話にも努めていきたい」と答えました。

職員との対話を努める

これまで。その点で、まだ職員の理解と納得が不十分の様子がうかがえます。施策の実効性を高めるために職員への説明についてどう考えるか加地市長の見解を尋ねました。

これに対し加地市長は、「政策の変更是関係者をはじめ、市民生活にも大きな影響を及ぼすものであり、市民参画と情報公開の観点からも市民への説明責任を果たすことは、私の責務。今回、市民との対話集会、タウンミーティングや市民サービスチェックなど、新たな取り組みを実施し、政策変更に応じて市民への説明に努めてまいりたい」と答えました。

豊かなつながりが基本

いずれにしても、小郡市をより魅力あるまちにしていくためには、加地市長はもちろん、議会、市民、職員全員参加で力を結集する必要があります。そのためには、議論を交わしながらも、互いを尊重し信頼関係をより豊かなものにしていかなければなりません。

その場合、職員が上司の意図するところを自らの胸にストンと落として初めて初めてやる気を持つて職務に当た

市長の施政方針「市職員とつながろう」に向けて 職員の情熱とやる気をどうつくるか

めんじゅうふくはい くれぐれも面従腹背にならないように

**市長さん、職員との
信頼関係はできていい
ますか**

小郡市役所が職務を行つて行く上では市長と職員の間で情報の共有と方針の統一性が常に保たれていなければなりません。そのための合意形成はリーダーとして市長が最も気を配らなければならぬ重要な組織運営の基本です。

もし、これがなければ職員は何のためにやっているのかわからず、指示通り、ただ機械的に動くだけで職務に対する情熱ややりがいを見失い、その結果、組織全体の活力がなくなってしまいます。

ここが腕の見せ所

まだ日も浅いせいか市長と職員の間での意思疎通が今一つしつくりといつてないようになります。変革期につきものの壁なのかもしれません。これから先、職員と一緒にやっていきません。

しんばる議員の「そのた

加地市長、「合意形成重要、職員の声に耳を傾ける」

くためには、互いの信頼関係、やる気づくりが重要です。市長の腕の見せ所です。

めにどうするのか」との問い合わせに市長は「しっかりと対話をしていくことに尽きます」と答えました。

職員参加の行政運営を

しんばる議員の質問に対し、加地市長は「政策を推進していくためには、市職員がやる気を持ち、一致団結してつながっていくことが必要であり、そのためにも庁内での合意形成は重要。

小郡市には「人材育成方針」というのがあります。この中の「組織文化」といいう項目に次のように書かれています。

担当課からの課題の報告や提案に耳を傾け議論を行う中で、互いの理解を深めることが基本であり、庁議などでも緊密な連絡と報告について指示をしていく」とした上で、「職員がやる気を持って事業を取り組んでいくためには、事業の目的や内容を正しく理解することも必要、職員が目的を理解した上で参加できるよう計画的に進めていく」と答えました。

しんばる議員の「そのた

小郡市に2園ある公立幼稚園は、大幅な児童減少存続が危ぶまれ、今後どうするかについて、市の審議会で議論を重ねてきました。その結果、人數の少ない三国幼稚園を小郡幼稚園に統合して1園とし、3年保育、夕方までの預かり保育、三国方面は車による送迎という方針が出されました。

保護者ら、存続訴え

これに対し、保護者を中心に行なう存続運動が起き、市長等への陳情を行いました。加地市長は方針は変えないが、三国幼稚園跡地に「幼稚園機能」を残した何らかの児童教育施設を設置すると表明しました。来年度以降、具体的な計画が出てくるものと思われますが実際の入園者数がどうなるかなどむずかしい問題です。

三国幼稚園はどうなる？

この1さつ

一〇三になつて
分かつたこと

篠田 桃紅

著

著者の篠田桃紅さんは、抽象的な絵を描く現役の画家。長く生きてきて人生を達観、悟りの境地で振り返っています。悲喜こもごも自分がれる言葉は温かく、力強さがあります。

生涯独身で、どの美術家団体にも属せず自由に気楽に平和に生きていると淡々と語っています。「自らの足で立っている人は、過度な依存はしない」「老いたら考える」など、読んでい

ると、老いていくことがちつとも不安ではなく楽しみだと思えてきます。

「幸福になれるかは、この程度でちょうどいい、と思えるかどうかにある」「真正面だけではなく斜めから見てみる」。

手に伝わっていなければ足りなかつたということです。市長は、時に議員から気に入らない質問をうけます。冷静さ、謙虚さ、懐の深さで受け止めさせていただきたいのです。（よし）

福岡県退職教職員協会 地域教育文化事業



JOY CLUB

ミュージックアンサンブルコンサート

期 日：1月27日（土）13:00開場
13:30開演

会 場：小郡市文化会館大ホール

入場料：おとな￥500(当日券あり)
小中高生以下 無料

講会こぼれ話

加地市長の反論

小郡市議会は、基本条例で議員の質問に対する市長の反問権を認めています。今回の私の「政策変更の説明が足りないのでないか」との質問に対し、加地市長は「きちんと説明しており、問題点があるのなら、そのときに質問するべきであり、その後の議会でも質問されれば、市民に対して十分な説明が果たせた。それをしないで今説明が足りないという指摘は、はなはだ疑問だ」との答え。

あまりに強い口調の反論に私だけでなく他の議員もびっくり。よっぽど腹立たしかつたのでしょう。市長は説明したつもりでも、相手に伝わっていなければ足りなかつたということです。

市長は、時に議員から気に入らない質問をうけます。冷静さ、謙虚さ、懐の深さで受け止めさせていただきたいのです。（よし）